

あおぞらだより

第134号（発行/平成26年7月）

特集：お誕生会とボランティアさん ほか

電力

江戸川病院院長 新村ヨシオ



当院では可憐なアジサイが
色とりどりに目を楽しませてくれました

電力は生活や産業には欠かせない。電気は文明を変えてきた。機械化が全国に浸透し、電気がないと作動させられない。物造りの日本には高機能の自動機械が発展しており、電気仕掛けになっている。完成した製品も電動式のものも多く、さらに電力を必要とされる。通信はもとより金融、製造、流通にしても電子機器が無いと仕事ができない。需要はより高品質な製品を求めため産業も進歩し、気が付くと想像を超えた機械が世に出てくる。産業ロボットにしても電子化して精緻になりマイクロメートルの単位の精度を出して

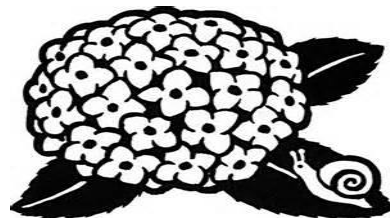
いるし、周辺には携帯電話やスマートフォンそしてインターネットと電気製品の氾濫に驚嘆している。洗濯機・テレビ・冷蔵庫、冷暖房機に感心していた時代には自身が生きている間に携帯電話の出現すら想像もしていなかった。インターネットの普及で世界は極端に縮まり、情報は1日も経たないうちに世界を駆け巡ってしまう。その便利さを享受しているが、電力が無くなれば全く機能しなくなる危うさもある。

電力は電化を国策としてe-JAPANを掲げてきたこともあるが、目ざましい電子機器の発展とともに消費量を伸ばしていた。マンションや個人住宅でもオール電化を謳っており、電気に依存した国造りになってしまった。戸締りにしても電子錠のところもあり、トイレも電子部品が備わっており糸目をつけなければ電化できないものはない。今や車も電気自動車も街中を走っているし、歯ブラシまで電動製のものがある。電車の駅でもエスカレータ

—やエレベーターが設置してあり、地下の深くに駅が造れるようになり、多層の乗り入れが可能になって更に便利になってきた。文化にも影響を与え、電子機器を社会設備しないと国も世界から遅れをとってしまうであろう。世界の政治や経済の変動も目まぐるしく、情報は電波で拡散していくので速度も速く、全体的に迅速に対応することを余儀なくされる。電子工学の発展が電化を促進させ、電力の消費量が増加してきた。加えて好景気になれば、企業もフル稼働し、残業が増え、深夜族も多くなり、日本は不夜城化している。今だって節電という呼びかけは聴かなくなってきた。

電力が供給されているうちは何の不便も感じないが、故障や災害で停電になると、恐慌状態に陥る。夜間に電燈が点かないと、闇の中で自分を見失っているようで恐怖感を覚える。今まで当然のように使用出来ていたものが利用できなくなると、次の手段が思いつかない。そのために非常時の訓練が必要になるのであろう。2011年の東日本大震災後に当地域に計画停電があり、医療や事務機器が作動しなくなり、事務手続きから、運搬までも手動となり、能率も極めて落ちた。健康と同じで失って初めて重要さや有難みが分かる体験をしたところである。いわゆるライフラインの確保も出来なくなることも分かった。電力の必要性を痛いほど感じたし、管理者としては、常に心配の種でいつも頭の片隅に在る。

電力の供給は未だに明確な手段が決定していない。原発の再稼働の機運を高めようと国も躍起になっているが、安全性が確保されないので保留のままである。代替エネルギーの普及も進まず、確定するまでに至っていない。化石燃料による発電が輸入額を押し上げ、日本の貿易収支は赤字が続いている。原発の事故から3年以上も経っているのに、現場からは放射能は遮断できず、論議が取り沙汰されている。現政権は終息宣言を出したが実際はコントロールされていない現実をどう考えるか。除染された廃棄物の処理場も見付からず、帰宅困難区域も残っているのに、国が収束宣言するあつかましさは国民の一人として恥じている。化石燃料は温暖化の原因とされているし、実際に気候変動による災害が多い。自然再生エネルギーが十分に供給できれば問題はない。反面天候によっては急激な消費や発電不足も予想されるし、電力の出力不足になって停電になることも想定しなくてはならない。地球環境を考えると原発も捨てきれないし、この夏の電力確保はどうなっているか不安である。自身の原発不要論の決心も揺らぐ時もある。



♪江戸川病院にはたくさんのボランティアさんが来てくださいます♪

1・2・3病棟では今月から合同の誕生会がはじまりました 6月28日 AM



14曲もの懐かしいメロディーを
クラリネットで熱演



アン
コ
ール!

一緒にスウィング!拍手喝采!

桃源 6月28日 PM



民謡と踊りのみなさん



唄とギターの生演奏



踊り



尺八



踊り・フラダンスも

七夕会 7月5日

美味しいものがたべられますよう
七夕の星の間を 綴



者様の匂から)



御紹介！！

栄養部から～暑さを乗り切る夏ばて防止レシピのご紹介です

疲労回復に良いビタミンB1が豊富な豚肉を使った「豚肉とナスのみそ炒め」<3人分>

・豚ひき肉 150g ・ナス、ピーマン各3ヶ ・サラダ油 大2 ・みそ 大2 ・さとう 大1 1/2 ・みりん 大1
・しょうゆ 大1/2 ・ごま油、ラー油適量



- ① ナス、ピーマンは食べやすい大きさに切る。切ったナスは5分程度水につけて水気をふきとる。
- ② フライパンにサラダ油をいれ、豚ひき肉・ナスを炒める。その後ピーマンをいれ更に炒める。
- ③ 調味料をませ②にからめ、ごま油、ラー油をたらせば、できあがり。

看護部～



看護部では「接遇」についての研修会を重ねています。職員全員、熱心に参加しています。

デイケア～



デイケアでは毎月みなさんの嬉々こもごもの思いの詰まった新聞を発行しています。

江戸川病院 7月 院内行事予定

7月誕生会	1・2・3棟	7月26日(土) AM10:00～	ひまわり
桃源		7月26日(土) PM 2:00～	6Fホール
桃源七夕会		7月5日(土) PM 2:00～	6Fホール
サクランボシアター		7月8日(火) PM 2:00～	ひまわり
デイケア・3-2合同活動		7月15日(火) PM 2:00～	ひまわり

今月の脳トレ

今月は「梅雨」の名の通り、雨の多い1月でした。日本の梅雨といえば「しとしと」と風情すら感じられたものですが、最近は「ゲリラ豪雨」に悩まされることも増えましたね。そこで今回は、「雨」にちなんだ問題をいくつか・・・次の読み方と、意味を考えてみてください??

- ①催涙雨 ②洗車雨 ③ 雨夜の品定め ④喜雨 ⑤小夜時雨 ⑥小糠雨

『あおぞらだより』に関するご意見
ご感想・ご投稿などは『医療相談室』
までお寄せ下さい。(内線 238・292)

医療法人社団 全生会 江戸川病院
〒278-0022 千葉県野田市山崎2702
電話 04-7124-5511 <http://www.edogawa-hp.com>

◆編集後記◆7月は暑い日が多くなるのでしょうか？夏バテ防止レシピで、元気に過ごしましょう！

- ① 「さいるいう」7月7日に降る雨(彦星と織姫が別れに流す涙)
- ② 「せんしゃう」7月6日の雨(織姫に逢いに行く牛車を洗う)
- ③ 「あまよのしなさだめ」女性についての論評(はなし)をすること
- ④ 「きう」日照りの後の恵みの雨
- ⑤ 「さよぐれ」夜に降る雨
- ⑥ 「こぬかあめ」音もなく降る